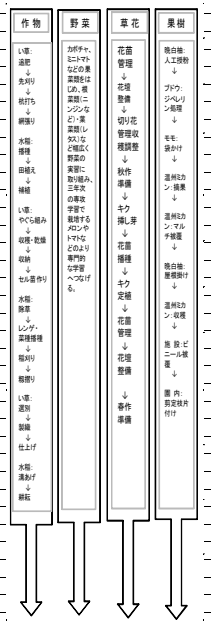
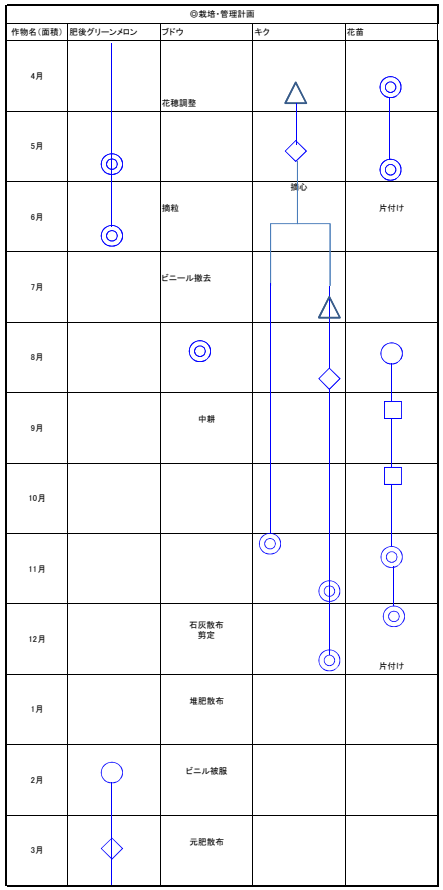
H28年度　園芸科学科における指導計画（分野：　　）

熊本県立八代農業高等学校

教科横断的な事項	○将来のスペシャリストの育成、○地域産業を担う人材の育成、○人間性豊かな職業人の育成
3つの目標	○基礎的・基本的な知識と技術の習得、○社会的な意義や役割の理解、○諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度の育成
校訓等	校訓：「礼節を重んず　勤労を尚ぶ　誠実に生く」 教育目標：「高い志を持ち、社会に貢献できる魅力ある人材の育成」 教育スローガン「志高く、日々前進」
学科の目標	園芸作物の栽培と経営に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、園芸作物の品質と生産性の向上を図る創造的・実践的な能力と態度を育成し、農産物の生産に関する分野を得意とする社会の形成者を育てる。
育成すべき資質・能力	「端正な服装と礼儀正しい生徒」　「目標達成に向けて努力する生徒」「自立心を持ち誠実に行動する生徒」
年次	2年次

科目名	課題研究	総合実習	野菜	果樹	草花	△農業情報処理	●農業機械
単位数	2	2（1）	2	2	2	2	2
座学と実験・実習の割合	2対8	1対9	6対4	6対4	6対4	2対8	6対4
学習内容 4月	1 オリエンテーション	オリエンテーション（班分け・ローテーション説明）	オリエンテーション	オリエンテーション（シラバス）	座学	オリエンテーション（シラバス）	オリエンテーション（シラバス）
	課題研究の進め方		人間生活と野菜	果樹の種類と果樹栽培の動向	・学校で栽培している草花を覚えよう	第1章　生活と農業の情報化（復習）	第1章　農業と農業機械
	専門的な課題の設定		いろいろな野菜とその特徴	・種類と利用	・草花の生産と消費の動向	第3章　コンピュータによる情報の活用	1　人間生活と農業機械化
	記録簿と自己評価について			・生産と消費		3　表計算ソフトウェアの利用	3　農業機械と安全作業
5月			カボチャの栽培	果樹の生育と栽培環境	☆実習	☆実技　Excelの基礎	第2章　トラクタの構造と操作
			栽培的・経営的特性	・生育と生理	・キクの挿し芽など	1　合計の計算	5　燃料と潤滑油
			作型と栽培計画管理	※開花・結果習性	・花苗の栽培	2　簡単な表の作成	
	2 探究する活動の決定		（整枝・人工受粉・摘果）			3　グラフの作成	
6月			野菜の生育と品質	（実習等）	座学	第2章　情報の基礎	第3章　原動機の構造と整備
	研究活動に向けた準備・計画		種子と発芽	ブドウ：副穂切り～房整理～摘粒～	・草花の特性と栽培・利用	3　情報通信ネットワークのしくみ	2　内燃機関
			花芽の分化・発達と果実の肥大	マルチ被覆～袋掛け	（花きの成長、繁殖）		4サイクルガソリンエンジン（1）
				ミカン：圃場管理			
7月	3 実践活動		ミニトマトの栽培栽培的、経営的特性		☆実習	☆実技　Excelワークシートの活用1	
			主な栽培管理		・キクの挿し穂とりなど	1　連続データの入力	
			（整枝・ホルモン処理・出荷調整）		・切り花の管理・収穫・調整	2　平均の計算	
						3　計算式の複写、罫線	
8月							
				果樹の栽培管理	座学		第3章　内燃機関
9月	3 実践活動		根の発達と肥大休眠と休眠打破	・栽培管理	・開花と光周性	第3章　コンピュータによる情報の活用	2　内燃機関
				果樹栽培の実際	☆実習	1　日本語ワードプロセッサの利用	4サイクルガソリンエンジン（2）
				・ブドウ	・キクの栽培	ビジネス文書の構成を覚えよう	
			ニンジン（根菜類）の栽培	・カンキツ	・花苗の栽培など		第3章　原動機の構造と整備
10月	4 農業技術検定		栽培的・経営的特性	※温州ミカン　※晩白柚		☆実技　日本語入力の練習（復習）	2　内燃機関
			作型と栽培計画	・その他の果樹	座学	文書入力	2サイクルガソリンエンジン
			主な栽培管理（播種・間引き）		・キクの栽培管理	・右寄せ、中央揃え、左寄せ	ディーゼルエンジン
			現場実習	（実習等）	・キクの病害虫、経営（作型）について	・均等割り付け、横倍角	第2章　トラクタの構造と操作
11月	5 中間発表プレゼンテーションの作成			ブドウ：収穫～出荷調整		☆実技　日本語入力の練習（復習）	2　トラクタの構造と整備
				ミカン：摘果～品質検定～収穫～	☆現場実習	文書作成	3　トラクタの操作と安全作業
				出荷調整		・罫線を使って表を作成	
			野菜の生育と品質				
12月	6 中間成果発表会		茎葉の生育と結球	現場実習	☆実習	機械操作、文書の種類・作成	
			野菜の品質とその管理		・キクの収穫、調整	言葉の知識	
					・花壇の管理など	ビジネス文書実務検定合格を目指す！	
			レタス（葉菜類）の栽培				
1月	7 課題研究のまとめ		栽培的、経営的特性	果樹の栽培管理			第4章　作業機の構造と利用
			作型と栽培計画	・剪　定	座学	☆実技「インターネット」の利用	1　耕うん整地用機械　2　稲作用機械
		（2学期）現場実習（農家宿泊研修）	栽培管理（追肥・病害虫防除）	・施　肥	・おもな用土とその特徴	☆実技　Excelワークシートの活用2	3　野菜・畑作用機械　6　防除用機械
			野菜の栽培と環境管理	果樹の流通と経営	・基礎的な園芸用語の確認	1　セル番地の絶対参照	8　各種作業機
2月	8 研究成果発表会	課題研究発表会に向けた取り組み	野菜の健全な生育と環境	・流通と経営	プロジェクト発表会	2　最大・最小	第5章　農業機械の利用と機械化体系
			プロジェクト発表会	プロジェクト発表会	☆実習	☆実技　Excelワークシートの活用2	1　農業機械の効率的利用
				（実習等）	・キクの親株植え	5　条件の判定	
	9 研究結果のふりかえり			ブドウ：剪定～施肥	・播種	6　条件付き書式	
3月	記録簿の整理と達成度合の確認	各専攻わけ	野菜の流通と販売	ミカン：剪定～施肥	・サイネリアの調整、出荷	☆実技　プレゼン資料の作成と発表	
					・花苗の管理など	・課題研究発表会に向けて	
	（通年）各種資格検定取得の取り組み	（通年）農業鑑定競技への取り組み					
		長期インターンシップ					





参考

教材選定の理由
八代地域は熊本県でも有数の農業地帯であり、施設野菜ではトマトパンペイユ、い草は全国でも生産量トップであるので選定した。また施設野菜でもメロンは温暖な地域に適しており、播種から4ヶ月程度と生育が穏やかで生理生態を学習しやすいということで選定している。キクは日本に馴染み深い植物であることと栄養繁殖の挿し芽、電照栽培を用いて開花と光周性を理解させるにとても良い教材であるため用いている。花苗は校内環境の向上と農業経営上、体験的に学ばせることが可能なので用いている。

地域の農畜産物の生産状況

作目	作付面積（ha）	収穫量（t）
いぐさ	759	8600
トマト	474	46300
メロン	102	2800
イチゴ	88	2150
キャベツ	294	7100
レタス	157	2600
バレイショ	182	3000
晩白柚	67	860

（凡例等）

○播種　□仮植・鉢上げ　◇定植　◎収穫・販売　△挿し芽